

授業記録「特別活動だより」で授業内容の定着を図る

塚本 幸男

Using the record of the lesson "Special activities news" in the class to facilitate students' understanding of the lesson contents.

Yukio TSUKAMOTO



授業でも毎回授業記録を「たより」として発行し、授業内容の定着を図った。この便りには、授業の内容・板書・資料紹介・授業写真・学生の感想を入れている。では、「たより」で授業を振り返り、授業での学生の様子や授業の感想文から、その効果をもてみたい。

II 講義を記録した「特別活動だより」

このたよりは、毎回授業の最初に配布し、講師が読むことで前回の授業の復習を兼ね、スムーズに授業に入れた。では、講義の内容を記録した「特別活動だより」を以下に記す。

特別活動って何だろう? 第1回目講義(9/24)



1 授業は、問題解決的に
9月24日(火)9:00
~10:30に「特別活動」の第1回目の授業。

「特別活動って何だろう?」という学習問題です。小学校の授業は、学習問題を児童・教師共に考え、解決するという問題解決学習の形をとっています。教師が教えてしまうより、思考できるからです。

この問題について色々意見が出されました。

①ボランティア ②クラブ活動 ③道徳 ④委員会活動 ⑤修学旅行 ⑥社会見学(これは、キャリア教育となり、「社会科見学」とすると社会科学習となります。また、「校外学習」とすると学校行事となります。) ⑦学校行事。

2 「特別」なもの「特別じゃないもの」の区別

I はじめに

37年間の教職経験の中で、担任時代には「学級だより」を、教頭・校長時代には「学校だより」を発行してきた。そこには授業の記録・児童の感想・活動の写真などを入れた。その反響は大きく、授業内容の定着と授業への意欲喚起、保護者の信頼を得るのに大変効果があった。また、教師にとっても、授業の振り返りができ、授業内容の改善に役立った。今回、大学の自分の

ここで、⑧教科外の活動、という意見が出されました。これは、修学旅行や道徳というより、かなり大きな枠組みを出したということです。

更に、⑨係活動という意見や、⑩昼休みという「時間帯」、また、学習と対応関係にありそうな「遊び」という内容を含んだ意見が出されました。こうして、次第に「特別活動」の「特別」の意味が見えてきました。つまり、こういう分け方ができますね。

「特別じゃないもの→国語・算数・理科・社会などの教科と、道徳・総合的な学習の時間などの領域」

「特別なもの→教科・領域以外のもの」

3 そこにはいっぱい感動がある!!

ここで、「平成22年度の四街道市立八木原小学校表現力発表会」のDVDの全校合唱「With You Smile」と5・6年生による「YELL」を視聴しました。子どもたちの歌っている表情がアップで映され、その一生懸命さ、歌の美しさには心打つものがありました。「実は、これも特別活動なんです。じゃあ、特別活動には、どんな領域があるか見てみましょう」こう言って、学校で実際使っていた校務分掌表で確認し、特別活動の写真を見せました。

4 「特別活動」の4つの内容（ガガ塾：と覚えて下さい！）

(1) 学級活動・・・「これは1年生の学級活動の授業で、『からだのどこがよれるかな?』という、自分の体の汚れに気づいて、清潔にする習慣を身につけようとする授業です」

(2) 学校行事・・・「これは、入学式風景。1組はベテランの石田先生。2組は新採の青木先生。不安な青木先生に『同じようにやればいいからね』と石田先生が言って入学式を無事終えました」

(3) 児童会活動・・・「これは児童会が昼休みに主催した全校ドッジボール大会。みんなでスポーツして楽しもうという児童会の企画で児童主体で行われました」

(4) クラブ活動・・・「クラブは、4年生以上の子どもたちが自分の好きなものを選んで入り、活動します。写真は、ダンスクラブが練習の成果を昼休み発

表しているところです」

このあとさらに4枚の写真を見せ、どの内容に入るかクイズを出しました。その中の一つ。「運動会」写真は、みんな「学校行事」と答えました。そこで、こう説明しました。「確かにその通りですが、運動会のスローガンを学級活動で決めたり、それをクラス代表が集まる代表委員会で決定したり、開会式の進行を児童会が行ったり、準備体操や行進の号令を体育委員会が行ったりと、一つの活動に様々な内容を盛り込んでいます」

5 これらに共通するものは？

「では、これらに共通するものは何でしょう？」

すると、①「人と人の交流を大事にしている」 ②「主体が子どもで、企画も子どもが行っている」 ③「すべてに『発表』がある（これは、「表現」ということですよね。つまり、子どもの「自己表現」があるということですね、と補足）」 ④「社会性の基礎づくりとなっている」 ⑤「人間関係づくりが行われています」本当に、いい意見がたくさん出ました。では、新学習指導要領では、特別活動の目標がどう書かれているか見てみましょう。こう言って目標を読んでもらいました（このたよりの1頁上に掲載）。「みなさんの言葉で言い尽くされている気がします。これらが、『集団活動を通して』行われるのです」とまとめました。

6 短大生の授業の感想

① 初めての授業ということで緊張してたけど、安心しました。ビデオを見てかわいい子どもたちの一生懸命な姿が印象的でした。私は小学校のころ特別活動が大好きでした。先生になった時に生かせるようにしっかり学びたいです。よろしくお願いします。（中西正恵）② 実際に特別活動について考えてみて楽しかったです。入った時から先生にこにこしてて優しそうで可愛いなと思いました。授業1限で眠たいけど頑張ろうと思いました。（元吉佳奈）



7 2回目の講義の短大生の授業の感想

①発表会のDVDを見ていて、一所懸命な子、ちょっとふざけている子、にこにこ笑顔の子、照れているのかあまり表情が目立たない子、色々な子どもたちが一緒に一つのものを作り上げている姿が印象に残りました。自分が教師になってどんなことをしたいか考えてみたくなりました。(森川珠美) ②「特別活動だより」を見て、本当に感動しました！今まで短大や大学の授業で、こんなに手のこんだ授業通信は初めてです。すごく嬉しかったし、勉強のモチベーションもあがりました。また、毎回ビデオで元気な子どもたちをみると、本当に先生になりたいと改めて思います。(沼山葉月)

現場の先生から学級活動の授業を学ぼう！ 第



4 回目講義 (10/22)

1 37年勤務の石田洋子先生

今回は、小学校で37年間勤務し今春退職した石田洋子先生に模擬授業をして頂きました。石田先生は、学級経営が素晴らしく、子どもたちを思いやりながら、意見や考えを引き出し、とても豊かな授業をされる先生です。今までの講義の中でも、昨年度新採の青木梢先生に「私と同じようにすればいいのよ」と身をもって手本を示され、立派に育てた先生として紹介してきました。

2 豊かな授業の時間が……

いよいよ石田先生の授業が始まりました。挨拶を終えると「私の声が聞こえますか？」と聞き、学生のうなずきを確認し、「後ろの人もしっかりと視線を合わせてくれて嬉しいです」と話されました。授業は、子どもたちの遊んでいる絵を見せ、「何して遊んでいますか？」と始まりました。「滑り台」「ブランコ」「縄跳び」「砂遊び」と意見を言ってくれた子を誉め、「遊ぶと、体が汚れるよね。どこが汚れているかな？」と言って、学生にアルコール消毒液を含ませた布を配り、体を拭いて汚れたところを見付けるように言いました。「手」「足」

と意見が出されました。「ひざ」の意見の時は、「では、これは？」と指して「ひじ」と学生が答えると、その部分を確認するようにみんなでさわり、「こうやって1年生は、体の場所の名前を覚えていきます」と語りました。「脇の下」という意見が出ると、「そうね。服で見えない所も汚れているね。良く見付けたね」と誉めました。「かお」という意見が出ると、「そこが汚れているなら……ここも……」と促して、「髪の毛」という意見を出させました。笑顔、丁寧な導き、根拠ある誉め言葉……本当に豊かな時間の流れを感じました。

3 自分を大切にすることにつながる

「体が汚れると、どう？」と聞きます。「きたない」「くさい」、「いやだなと思う」という返答に、「そうだよね。どうすればいい？」と質問。「手を洗う」という意見に、手洗いの図を見せます。そうして、手の甲、手のひら、指の間を洗うこと、同時に手の部分の名称も覚えさせました。さらに、「お風呂に入る」という意見には、実際に学生に前に出て来てもらって段ボールのお風呂に入る動作をしてもらい、洗い方をみんなで確認しました。女性にも動作化してもらいましたが、みんなの前でできたことをとても誉めました。こうして体の汚れた部分を知って、手洗いやお風呂に入り、体を清潔に保つことが自分を大切にすること、自分の命を大切にすることに繋がり、また、性教育の第一歩でもあることを伝え授業を終えました。

5 学んだことを言葉にして言う

そのあと、この授業を受けた学生から、今回の授業で気付いたこと、学んだことを言ってもらおうと、「ひじ、ひざなどあいまいなところをさわるなどして、体で覚えさせる」とか、「問題やまとめなど大事な所はみんな声に出して読ませる」など、たくさんの意見が出され、よく考えていることが伝わってきました。最後に塚本が、「ところで、石田先生を呼んで授業してもらえぬのも、みなさんの授業態度がすごくよくて、僕は、誇りに思っているからです」と、言いました。

4 短大生の授業の感想

①石田先生の授業を受けて小学生の時に戻った気分でした。大切なことばかりで、何分間の間に何個も重

要なことがあり一瞬も見逃せないと思いました。深イイー（土屋磨利亜）②……真っ直ぐ目を見る必要性を強く感じました。安心感が全然違うと思いました。（千葉さつき）

読書を好きになる学級活動を考えよう！② 第



8回目講義（11/19）

1 指導に具体性と変化を持たせる

今回は前回に引き続いて、「読書を好きになる学級活動を考えてみよう！」が、学習問題です。学習指導要領「オ 学校図書館の利用」（P.39）には、「指導に具体性と変化を持たせる」とあります。つまり、口で指導するだけではなく、例をあげたり、やって見せたりして、目に見える形で指導し、同時に、子どもたちの反応に対応した指導の工夫・改善を継続的に行うということです。

2 学生が考えた「読書を好きになる方法」前半

10分間のシンキングタイムののち、前に出て来て、アイデアを発表してもらいました。①（佐藤・滝澤）廊下に本の中の1文を書いて紹介する。壁にじゃなく、「廊下に！」という発想がすごいですね。きっとその文は、一生忘れられないでしょう。ただし、学校の校長や同僚の賛同が得られたら話ですが。でも、「廊下」を「柱」とか、「壁」とかにすると採用されるかも知れません。②（塚本・中里）読んだ本のページ分だけ進めるすごろくをつくって、遊ぶ。これは、読んだ冊数ではなく、ページにこだわった点がすごいです。大村はま先生の読書指導も、ページを合計していくというものです。③（新本・曾根原・宮下・生芝）毎日一人、朝の会で本を紹介する。これもとてもいいアイデアです。低・中学年では、ほとんどのクラスが、1分間スピーチなど人前で話す活動をしています。それを本に変えたら、1年間に200冊近く紹介できるかも知れませんね。④（松原・中西・五木田）本の中の気に入った1シーンを紹介し、その本の内容を書いたカードを教室の壁に貼り、他の友達がそれをきっかけに読み終えたら、そのカードにシールを貼る。そうすると、紹介

した子も嬉しいでしょうね。やる気が湧きますね。⑤（元吉・伊庭）②と同じ意見だったそうです。先に言われてしまいましたね。

3 学生が考えた「読書を好きになる方法」後半

5グループの意見を聞いた所で、少し考える時間をとると、友達の意見にインスピレーションが湧いたのか、再び意見が出されました。⑥（曾根原）グループで、読んだ本を劇で紹介。これもとても面白そうですね。表現力がアップしますね、きっと。

4 塚本学級の「読書パーティー」！

ここで、『教室を輝かせた子どもたち』（塚本幸男 一莖書房書房）の中で、どんな読書活動をしていたかを見ました。毎日、本を読んで、読んだ本を積み重ね、その高さで順位を競っていました。読書は、競争じゃないと言われそうですが、読書も子どもにとっては遊びの一つなのです。そうして、全員が七冊達成した所で、読書パーティーを開きました。教室の机を男子、女子の2つの円にして、最初は、女子がお客となり、男子がお薦めの本を紹介したり、紅茶やクッキーやチョコレートなどのお菓子、イチゴなどの果物を出して、もてなすのです。読書もアイデア一つで、楽しくなるのです。

5 授業のまとめを学生が書きました

最後に、富田達矢くんが、前に出てきて、「読書活動を工夫することで子ども達の興味をひくことができる。」とまとめの言葉を板書しました。「興味をひく」という言葉が、とても大切に思えます。

学生の感想：「今日は、児童たちに読書を好きになってもらうための活動を考えました。私がもし学級担任だったら、皆のおすすめの本を紹介し合う時間を設けたいです。また、今回の授業で学んだことは、先生と生徒、両方で一つの授業をつくっていくんだなということです。（菅野栞）

特別活動の指導案を発表しよう！① 第12回目



講義 (12/17)

1 自分の良さを見つけよう…… (阿部香織・中村帆波)

第1発表者：5・6年生「望ましい人間関係」 授業者：阿部香織・中村帆波

＜導入＞自分のいいところを見つけて、自分カードに書こう。＜児童の反応＞周りの友達と話し合う。友達カードに自分の良いところを書いてもらう。＜支援・指導＞見本を教師が見せる。＜まとめ＞自分カードと友達カードを比べて発表する。

2 好き嫌いなく食べよう…… (元吉佳奈・中西正恵)

第2発表者：2年生「好き嫌いなく食べよう」 授業者：元吉佳奈・中西正恵

＜導入＞「みんなは嫌いな食べ物はあるかな？」と、きちんと食べているかを見直す。＜展開＞食べ物を食べ残してしまったときのことを振り返る。本当は、おいしいものなんだよということに気付かせる。＜まとめ＞どうしたらおいしく食べられるかをまとめる。

3 もうすぐ中学生…… (新本英久)

第3発表者：6年生「もうすぐ中学生」 授業者：新本英久

＜導入＞中学校のイメージを語る。発問「中学校って、どんなイメージ？」出てきた言葉を板書。＜展開＞現役中学生男女2人に、「入学前」と「今」を6年生に語ってもらう。そのあと、質問コーナーを設ける。その際、日頃発表の少ない子を指名する。＜まとめ＞授業で学んだことを発表してもらい、板書してまとめる。

4 身の回りの整理整頓をしよう…… (佐藤眞子・鷺沼秀美)

第4発表者：2年生「机の整理整頓をしよう」 授業者：佐藤眞子・鷺沼秀美

＜導入＞「机の中は、大丈夫？」と、一人ひとり自己評価をしてもらう。＜展開＞整理整頓の仕方をみんなで話し合う。さらに、ロッカーへのランドセルの入れ方を考えさせる。入れ方が悪くて危なかったことも

考える。＜まとめ＞身の回りをきれいにする良さをまとめる。

5 クラスの目標を決めよう…… (鳥袋遙・藤原友香)

第5発表者：4年生「クラスの目標を決めよう」 授業者：鳥袋遙・藤原友香

＜導入＞「4年生になって、新しい1年が始まるね。最初に、クラスの目標を決めよう。」と発問。＜展開＞クラスの良いところを探し、次に、悪いところ（「直した方がよいところ」の方がいいかも）を探す。「改善するためにはどうしたらいい？」と発問。＜支援＞カードを配り、3つずつ書いてもらう。＜まとめ＞みんなの意見をまとめて目標を書く。

6 本を大切にしよう…… (曾根原聖也)

第6発表者：1年生「本を大切にしよう」 授業者：曾根原聖也

＜導入＞「本の寿命は？」と発問。＜展開＞図書室に行ってみる。すると、きれいな本、ぼろぼろになった本がある。違いをグループで見つけ、意見を言う。「なぜ、こんなボロボロに？」と問う。こうして、本の扱い方を考える。最後に、本の行方は？きれいにすればいつも本棚に。汚くすれば……。＜まとめ＞本の寿命は、自分で決める。だから、大切に！

7 感謝して食べよう！…… (鈴木千尋)

第7発表者：5年生「感謝して食べよう！」 授業者：鈴木千尋

＜導入＞「嫌いなものを嫌いでなぜ悪いの？ それって食べなくても問題ないし、大人だって残している」と発問。＜展開＞給食の献立や広告のちらしから、嫌いなものをチェックする。その料理は、できあいのもの？機械もするけど、いっぱい人手がかかっている。みんなで育て、調理した体験を話し合う。食べ物ができ、届くまでにたくさんの苦労と時間がかかっている。「苦労と値段、どっちが大きい？」と発問。「苦労＞値段」に気付く。＜まとめ＞「食べられることって当たり前？」と問いを残して、終わる。アレルギーの子にも配慮。

9 学生の感想

①みんなの発表や板書の仕方がとても上手でおどろ

いた。題は一緒でも、それぞれ違う意見が浮かびあがるので、自分の発想も豊かになる気がした。(松原祥太)
 ②今日、友達の発表を聞いて、みんなやっぱり先生になりたいって気持ち強いから、きちんと考えて、まとめられて、そのなりたいという強い気持ちが伝わってきました。みんなの発想や考え方に尊敬しています。(牧野早希子)

最後の授業「卒業式」で何を伝える？ 第14回



最終講義 (1/21)

1 卒業式の歌に込めたメッセージ

「さて、今日の学習問題は、特別活動の最後の授業の『卒業式』（※「卒業式」は、儀式的行事です）で何を伝える？ です。何を伝える？ って聞かれても困ってしまうことでしょう。今までの授業で、基本的な生活習慣は伝えた。読書の大切さも伝え、実行した。友達の良いところを見つけ合った。……最後、卒業式で教師として、何を伝えるかということです。そのことを考えながら、まずは、卒業式のビデオを見てみましょう。」こう言って平成25年3月の四街道市立南小学校の卒業式の在校生の「空より高く」の歌を聴きました。

空より高く 作詞：新沢としひこ 作曲：中川ひろたか
 人は空より高い心をもっている どんな空より高い心をもっている
 だからもうだめだなんて あきらめないで 涙をふいて
 歌ってごらん 君の心よ 高くなれ 空より高く 高くなれ
 (この部分、「蛍の光」のメロディー。) —以下略—

この歌は、2011年の震災後の岩手ラジオで地元の幼稚園児が自分たちができることをとって歌い、感動のあまり、全国の学校や人々に歌われました。どんな曲を選ぶかということも大切なことで、教師が伝えたいメッセージを曲に込めているのです。

3 怒鳴らず卒業式練習することも伝えたいこと！

「ところでみなさん、この卒業式のビデオ、卒業生の席が空いているでしょう。つまり、これは卒業生が式場に入ってくる前の歌練習のビデオなのです。南小

では、この日を含め、卒業式練習で先生が子どもたちを怒鳴ったりしないのです。逆に、練習の時から怒鳴らずに丁寧に指導しているから在校生は心を込めて歌い、呼びかけができるのです。何を伝えるかの中にこういうこともあるのです。では、何を伝えるか考えたことを言って下さい。

学生「継続の大切さ！」

学生「この小学校で学べたことを誇りに思って！」

学生「みんなと関わってくれた家族・友達・地域の人のことを大切に！」

「とってもいい意見です。まだ思い浮かばないという人もいますが、実際に子どもたちを担当すると、卒業式で自然に伝えたい言葉が出てくるものなのです。だから、心配しないで下さいね。」

4 笑顔で助け合うこと！

「では、塚本が校長として式辞の中で子どもたちに何を伝えたくみてもみましょう。」

「……(略)……2年前の東日本大震災後、約31万人の人が大切な人や物を失いながら、今なお避難生活を送っていることに思いをはせずにはおられないからです。人には、帰りたい場所があり、戻りたい時があり、逢いたい人がいるのです。6年生の国語の教科書に「きつねの窓」という作品がありますね。指をききょうの花の汁で染めて窓を作れば、焼けた自分の家や、会うことのできない母や妹や少女に会えるという物語です。まぶたに焼き付いた懐かしく、美しいふるさとや、大切な人にもう二度と会えないつらさ……。多分、それは、一人一人が背負うには、あまりに大きくつらいものでしょう。

そういう場所や時や人は、避難されている方ばかりでなく、卒業生のみなさんの中にも、そう、この会場の全ての人の中にもあるのです。その悲しさの海にいる。だからこそ、助け合いたいのです。みなさんは、この6年間みんなで助け合ってきたのです。いつも冗談を言って笑わせてくれた子、どんな暑さ寒さの日にも休まず学校に登校し勇気づけてくれた子、だれも答えられないような質問にも必ず意見を言って気まずい雰囲気^{ふんいき}を救ってくれた子、男女関係なくおしゃべりを盛り上げてくれた子……。黙っていても優しい心^{やさしいこころ}を伝え広めてくれた子……。みんな、この6年間を助け合った尊い友だちでした。だからみなさんが私と校長室で給食を取った時、6年間ずっと同じクラスだったのに、「中学校でも

一緒にいたい!」と言ったのでしょう。

「助け合う」というのは、自分のことだけに精一杯になるなということ。他の人の悲しさに気づこう、ということです。喜びを分かち合おう、ということです。そして、つらい時はだれかを頼っていい、ということです。南小は、たった一つのことを実現したいと願った学校です。そう、助け合うこと、笑顔で助け合うこと……。……(略)……」

式辞は、校長が自分で子どもたちを思い描きながら考えます。子どもたちは、卒業式の校長の言葉なんて忘れてしまうかも知れませんよね。でも、あの時、式辞を聞いて素敵な感情をもったということだけでもいいのです。その時の温かな感情は、全てを忘れても、いつまでも残るものだからです。

5 教職の道に進むことに迷っている学生に

最後に、教職の道に進むのを迷っている学生に話しました。「他の仕事に良さを見つけたのなら、どうぞその道で頑張ってくださいね。けれども、教職を夢見て、それが難しそうだから諦めようとしているのなら、頑張ってください。夢を実現してもらいたいです。年間講師をすれば経済的にも保証されます。講師をしながら受験し続ければ、数年後には、きっと受かるでしょう。保護者への対応の特効薬は、子どもに好かれることです。子どもに好かれないのなら、子どもの言葉に耳を傾け、自分を変えていきます。それは、とても素敵なことなのです。」

6 学生の感想

半年間たくさんのご意見を教えて頂き本当にありがとうございました。塚本先生は現場の本当の姿を話して下さいました。私は残念ながら今年採用にはあたりませんでした。4月からの担任の話がきています。ですが、4、5、6月の3ヶ月間は自信をもって教壇に立てるように勉強し今年こそ合格したいと思っています。試験が終わって9月から担任をもらえたらいいなと思っています。卒業式では、受けもった児童一人ひとりに6年間通して頑張っていたことを伝えたいと思います。親しみのある教師になれるよう、学んだことを生かして頑張ります。(田中亜由美)



III まとめ

半年にわたり先生の授業を受けて、学級だより(特別活動だより)の重要性を一番学びました。先生の学級だよりは、カラー印刷され、写真も多く使用されているので、とても見やすく感じられます。時間のない保護者であっても、これなら見たいという気持ちになると思います。教師にとって子どもはもちろんのこと、保護者との信頼関係を築くことが学級運営の上でも重要となります。教師が自分のクラスをどのようにしたいのか、その為にどんなことをしているのかを見やすく丁寧にまとめ、児童の活動とともに保護者に連絡することが前述へと繋がります。私が教壇に立った際には、先生が私達にして頂いた様に、なるべく多くの学級だよりを刷り、信頼関係の確立に努めたいと思います。(高橋 幸)

上記の文は、「特別活動の授業で何を一番学びましたか」という質問に書かれた文章だが、ここには、授業内容の定着以上に保護者との信頼関係を得るのに役立つという認識から、もし教職に就いたのなら自分でも「学級だより」を発行に努めたいという希望を述べている。その他、学生の反応からのいくつかの効果を書いてみたい。

① 授業がわかりやすい……授業の流れが各章小見出しをつけてまとめられているので、授業を振り返ることができて、わかりやすいという。また、毎回板書写真を入れているのもわかりやすさの効果を増していた(毎回授業の感想を学生に書いてもらっている)。

② 発言を記載したことで発言意欲が増した……たよりの中に、学生の発言を色を変えて載せたことで、授業での発言意欲が増した。また、授業の感想を毎回数人載せたことで、本人や友達が授業のとらえ方への興味を増した。

③ 復習に役立った……テストを前にして、授業を復習する際、たよりを見返している光景があり、また、たよりを大切に持っていて、読み直していた。こうして記録として残っているため、授業を振り返る回数が増えていた。

④ 指導案発表の手引きとして役立った……指導案

の書き方、指導案の例、他の学生の指導案発表の様子を「たより」に書いたことで、次の時間に指導案の発表を予定した学生にとって手引きになっていた。

⑤ 学生との信頼関係を築くのに大きな効果があった……「たより」を書くこと、学生が書いた授業の感想に毎回返事を書き、学生の感想の一部を「たより」に載せることは、教師にとって多大な時間を割くものであったが、このたよりを通して、学生が教師を信頼し、授業に意欲的に取り組むことに繋がった。

今後、この「たより」を元に、授業改善していくことにより、学生の意欲や活動を引き出す授業ができ、さらには、学生自身が授業の記録を書くようにまで発展できるだろうという展望をもった。



学生の感想に返事を書く。

引用文献・資料

- (1) 小学校学習指導要領解説 特別活動編 2008
- (2) 「平成20・22年度四街道市立八木原小学校表現力発表会」DVD2010 2012
- (3) 「平成22年度四街道市立八木原小学校特別活動全体計画」2010
- (5) 「平成24年度四街道市立南小学校 読書リング」2012
- (6) 塚本幸男『教室を輝かせた子どもたち』一葉書房、1993
- (7) 大隅裕介「教育実習メール」2013
- (8) 「平成24年度南小学校 学級活動年間指導計画」2012
- (9) 「空より高く」作詞：新沢としひこ 2011
- (10) 「平成24年度 四街道市立南小学校 学校だより」2013
- (11) 「平成24年度 四街道市立南小学校 卒業式」DVD 2013